

平成24年(ワ)第3671号, 平成25年(ワ)第3946号, 平成27年(ワ)第287号, 平成28年(ワ)第79号, 平成29年(ワ)第408号, 平成30年(ワ)第878号 大飯原子力発電所運転差止等請求事件


原告 竹本修三 ほか3313名


被告 国 ほか1名

証拠説明書(3)

平成31年1月31日

京都地方裁判所第6民事部合議はB係 御中


被告国訴訟代理人 熊谷明彦 代

被告国指定代理人 野口弘雄 代

福島貴浩 代


松岡宏 代

信藤竜治 代


玉井秀幸 代

佐々木 賢 代

西川 艶子 代


吉田 浩二 代

佐々木 豊 代

内 藤 晋太郎 代

小 林 勝 代

榊 野 龍 太 代

鈴 木 莉恵子 代

治 健 太 代

岩 佐 一 志 代

大 城 朝 久 代

矢 野 諭 代

仲 村 淳 一 代

森 川 久 範 代

前 田 后 穂 代

海 田 孝 明 代


熊 谷 和 宣 代

















井 藤 志 暢 代

大 野 佳 史 代

種 田 浩 司 代

松 岡 賢 代

花 見 清太郎 代

高 城 潤 代
河 田 裕 介 代
浅 海 凧 音 代
吉 倉 宏 明 代
高 野 菊 雄 代
清 水 行 生 代
小 泉 真 認 代
宮 口 慎一朗 代
山 瀬 大 悟 代
片 岸 雅 啓 代
塚 本 大 介 代
大 下 慶 代
久 保 一 樹 代
宇田川 徹 代
和 田 啓 之 代
柳 木 隆 宏 代
山 本 哲 弘 代
大 平 昌 幸 代

遠藤浩規 代

勝谷透 代

古島竜也 代

市平和久 代

略語は準備書面の例による。

号 証	標 目 (作成者等)	原 ・ 写	作 成 年月日	立 証 趣 旨
乙第48号証	実用発電用原子炉に係る新規 規制基準の考え方について (原子力規制委員会)	写	H28. 6. 29 (H30. 12. 19 改訂)	実用発電用原子炉に係る新規 規制基準の考え方等
乙第49号証	大飯発電所の発電用原子炉 の設置変更（3号及び4号 発電用原子炉施設の変更） について (原子力規制委員会)	写	H29. 5. 24	原子力規制委員会が、改正原 子炉等規制法第43条の3 の8第1項に基づき、大飯発 電所3号機及び4号機の設 置変更を許可したこと
乙第50号証	関西電力株式会社大飯発電 所の発電用原子炉設置変更 許可申請書（3号及び4号 発電用原子炉施設の変更） の核原料物質、核燃料物質 及び原子炉の規制に関する 法律に規定する許可の基準 への適合について (原子力規制委員会)	写	H29. 5. 24	大飯発電所3号機及び4号機 の設置変更許可申請が、改正 原子炉等規制法43条の3の 6第1項各号に規定する許可 の基準に適合していること等
乙第51号証	原子炉立地審査指針及びそ の適用に関する判断のめや すについて (原子力安全委員会)	写	S39. 5. 27 (H1. 3. 27一 部改訂)	立地審査指針の趣旨及び立地 条件の適否を判断する際の確 認事項等
乙第52号証	実用発電用原子炉及びその	写	H25. 6. 19	設置許可基準規則の解釈の内

	附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の解釈（原規技発第1801246号） （原子力規制委員会）		(H30. 1. 24 改正)	容
乙第53号証	発電用軽水型原子炉施設に関する安全設計審査指針 （原子力安全委員会）	写	H2. 8. 30 (H13. 3. 29 一部改訂)	安全設計審査指針の内容
乙第54号証	発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針及び関連の指針類に反映させるべき事項について（とりまとめ） （原子力安全委員会）	写	H24. 3. 14	発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針及び関連の指針類に反映させるべき事項についての内容等
乙第55号証	敷地内及び敷地周辺の地質 ・地質構造調査に係る審査ガイドの制定について （原管地発第1306191号） （原子力規制委員会）	写	H25. 6. 19	左記審査ガイドの内容
乙第56号証	地震調査研究推進本部ホームページ（島根県の地震活動の特徴） （地震調査研究推進本部）	写	H30. 12. 26 印刷	万寿津波は、大飯原発とは立地地域及び地理的諸条件が全く異なっている場所に到達した津波であること
乙第57号証	実用発電用原子炉に係る炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策の有	写	H25. 6. 19 (H29. 11. 29 改正)	有効性評価審査ガイドの内容

	効性評価に関する審査ガイド（原規技発第1711294号） （原子力規制委員会）			
乙第58号証	格納容器破損防止対策の有効性の評価に係る標準評価手法（素案）の概要 （発電用軽水型原子炉の新安全基準に関する検討チーム）	写	H25. 2. 15	原子炉圧力容器内の全ジルコニウム量の75%という水素発生量が、スリーマイルアイランドでの事故や炉心溶融試験の結果に照らして保守的な値であること等
乙第59号証	発電用軽水型原子炉の新安全基準に関する検討チーム第9回会合 （原子力規制委員会）	写	H25. 1. 11	発電用軽水型原子炉の新安全基準に関する検討チーム第9回会合の議事内容
乙第60号証	原子力2010（抜粋） （経済産業省資源エネルギー庁）	写	H22. 9	全身をCTスキャンした場合、1回の被ばく線量は、約6.9mSv程度であること
乙第61号証	国際放射線防護委員会の2007年勧告（ICRP Publication103） （翻訳発行・社団法人日本アイソトープ協会）	写	H21. 9. 30	2007年勧告の内容、同勧告が公衆の被ばくに関する実効線量限度（年度1ミリシーベルト）を定めていること等
乙第62号証	東京電力福島第一原子力発電所事故における環境への放射性物質放出量の試算等について	写	H25. 3. 27	福島第一原子力発電所の事故において、福島第一原子力発電所から環境へのセシウム137の総放出量が総1万テラ

(星陽崇, 梶本光廣 原子 力安全基盤機構原子カシス テム安全部)	ベクレルであったと評価され ていること等
---	-------------------------